

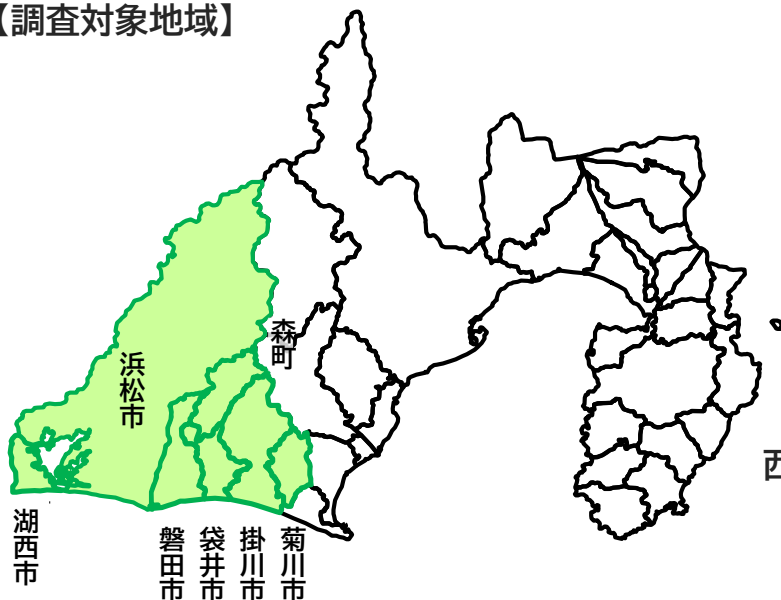


西遠都市圏における人の動き

第5回西遠都市圏パーソントリップ調査 (速報) から



【調査対象地域】



西遠都市圏総合都市交通計画協議会
2024年(令和6年)6月

はじめに

西遠都市圏では、都市圏居住者の移動実態を把握し、昭和52年（1977年）の第1回から数えて、計4回のパーソントリップ調査の実施により、その時勢に合った都市交通マスタープランを策定し、都市交通政策を推進してきました。

前回調査から十数年が経過し、社会情勢や都市圏構造の変化、都市圏内インフラ整備の進展など、都市圏を取り巻く状況が大きく変化していることから、第5回目のパーソントリップ調査を実施し、新たな都市交通マスタープランを策定していくこととなりました。

都市交通マスタープランは、パーソントリップ調査により移動実態を把握し、現況や将来の分析により明らかになる都市や交通の問題に対応していくため、策定するものです。

本冊子は、令和4年度に実施したパーソントリップ調査の速報値を、都市圏の人口や産業、土地利用の状況とともにとりまとめたものです。

CONTENTS

➤ 第5回パーソントリップ調査の概要 ……	1
➤ 人口動向 ……	2
➤ 産業 ……	3
➤ 土地利用 ……	4
➤ 移動・活動の現況 ……	5
➤ 移動・活動の変化 ……	8

－ ご覧になるにあたって －

本文中に記載されているグラフは、それぞれに出典等の注釈がない場合、下記条件で作成したものとなります。

データ：第5回西遠都市圏パーソントリップ調査 速報値（令和4年実施）
第4回西遠都市圏パーソントリップ調査（平成19年実施）

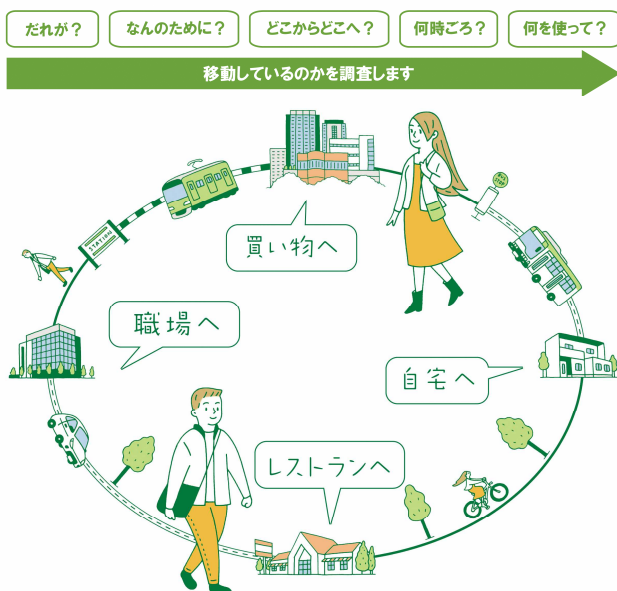
※第4回調査との比較を行っている集計は、第5回調査データから掛川市、菊川市の居住者を除いて実施しています。また、対象都市圏を浜松市、磐田市、湖西市、袋井市、森町と定義し、出発地・到着地のいずれもが対象都市圏外のトリップは対象外として、集計しています。

※四捨五入による端数処理の関係で総数と内訳の計とが一致しない場合があります。

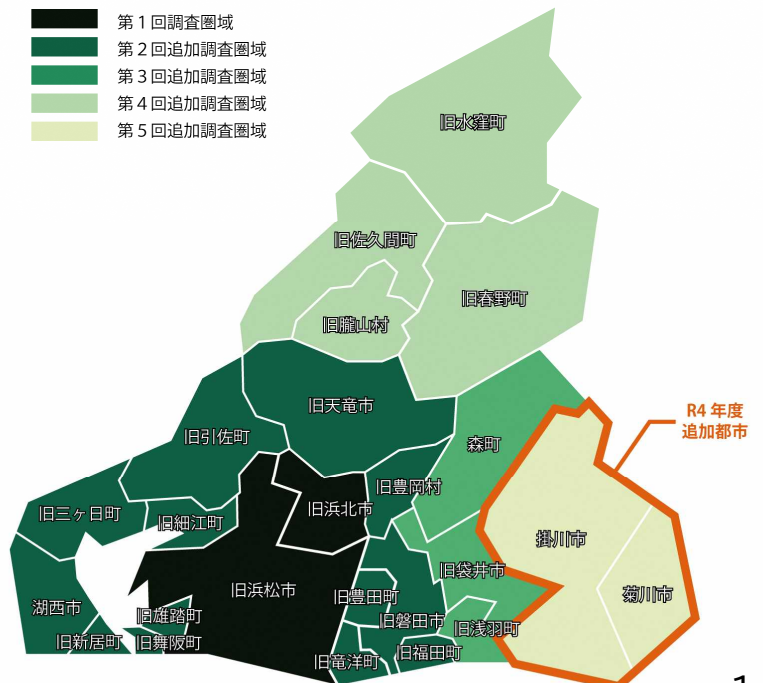
第5回パーソントリップ調査の概要

目的	ある一日の行動を対象に、「どのような人が」「どのような目的で」「いつ」「どこからどこへ」「どのような交通手段で」移動したかなどを調査し、把握した都市圏内の移動実態等を分析・整理し、都市交通の将来ビジョンづくりを行います	
圏域	浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、菊川市、森町（6市1町）	
内容 方法	本体調査	<ul style="list-style-type: none"> 都市圏内に居住している方の平日及び休日の1日の行動を把握 対象地域の約2.8万世帯へ調査票を郵送配付 郵送またはWebにて回答
	ターミナル調査	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通利用者の1日の行動・活動パターンを把握 都市圏内の代表的な鉄道駅・周辺バス停で調査依頼状を配布、Webにて回答
	企業調査	<ul style="list-style-type: none"> 都市圏内の企業の働き方に関わる実態及び意向を把握 都市圏内の主要な企業や事業所 約300社に調査を依頼

◆ 本体調査で把握する1日の行動のイメージ



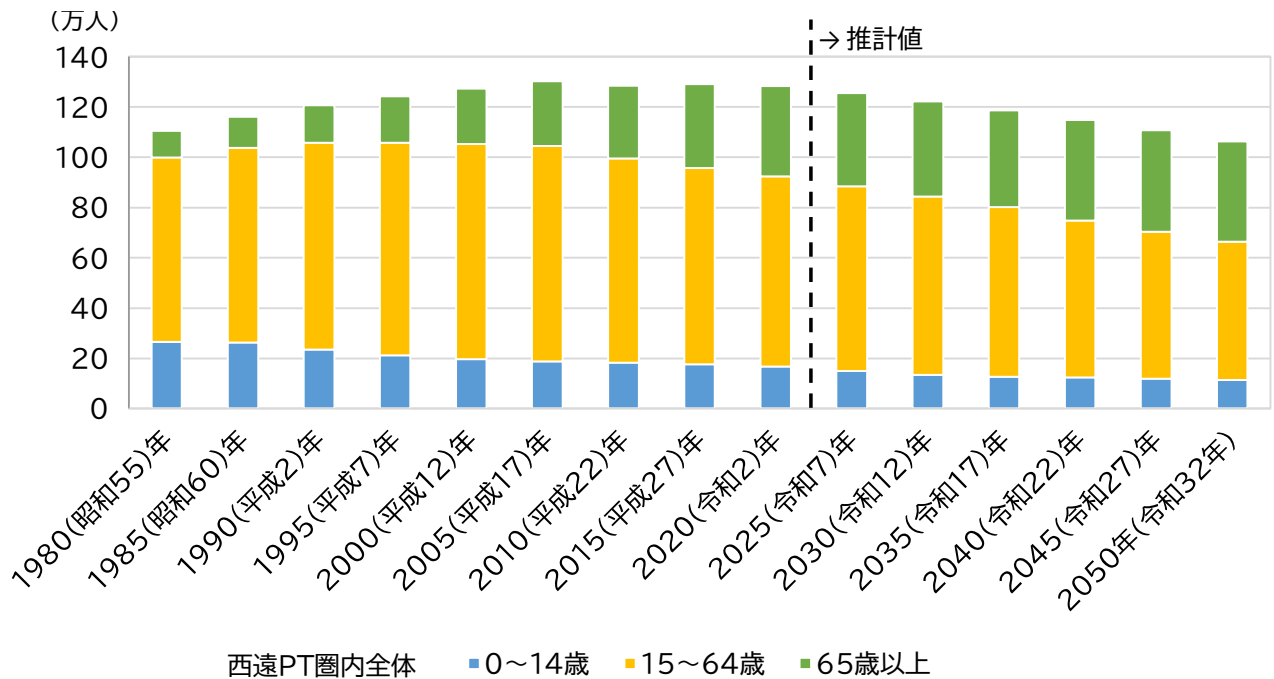
◆ 調査対象圏域



人口動向

◆ 年齢階層（3区分）の人口の推移及び将来予測

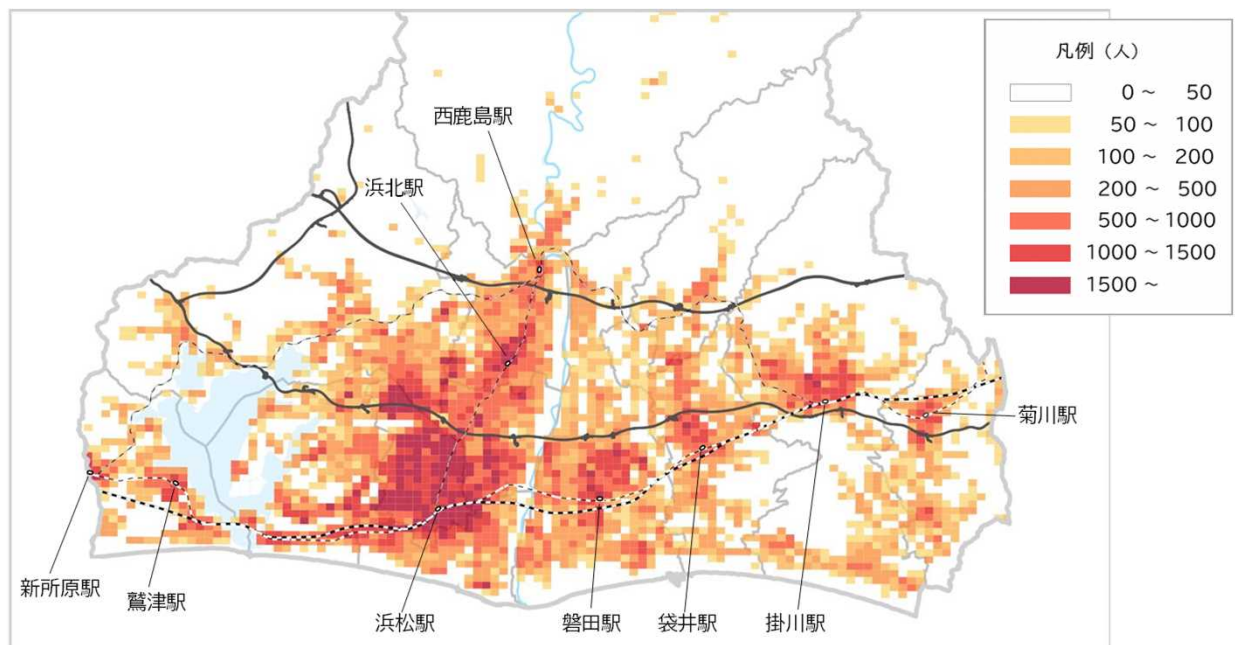
- ・西遠都市圏では、2005年をピークに人口減少が始まっており、今後も減少が続くことが予想されています。
- ・年齢階層別にみると、64歳以下の人口は減少傾向が続く一方で、65歳以上の人口は今後も増加することが見込まれています。



出典：国勢調査 及び 国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）

◆ 人口分布（2020年）

- ・地域別の人口分布は、各市町の市街地を中心に集まっています。

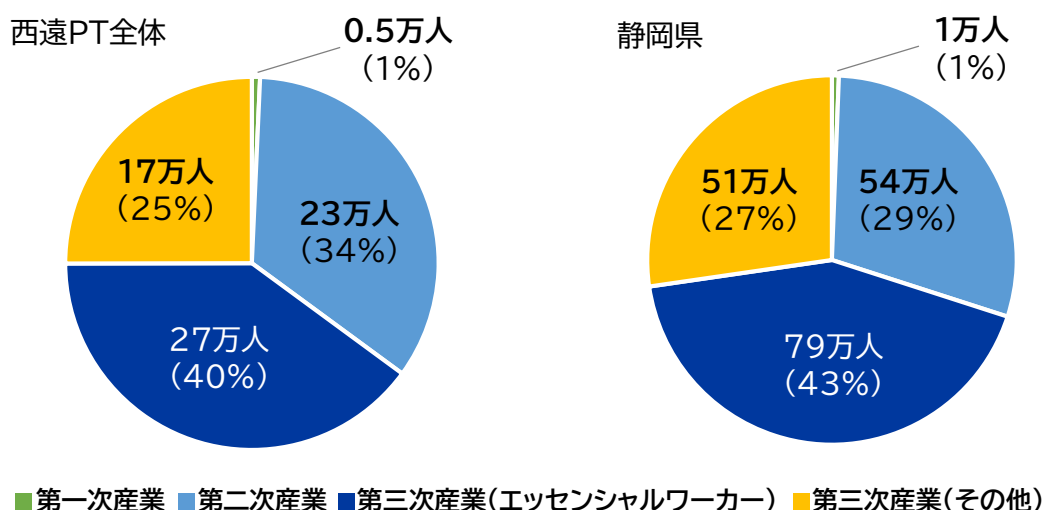


出典：国勢調査

産業

- ・西遠都市圏では、約23万人の第二次産業の従業人口を抱えており、全体の約34%を占めています。
- ・静岡県全体では、第二次産業の従業人口は約29%であることから、第二次産業従事者が多いことは西遠都市圏の特色です。
- ・従業地分布をみると、第二次産業従事者は鉄道駅から離れた地域に点在しており、第三次産業従事者は浜松駅周辺や各市町の中心部に集まっています。

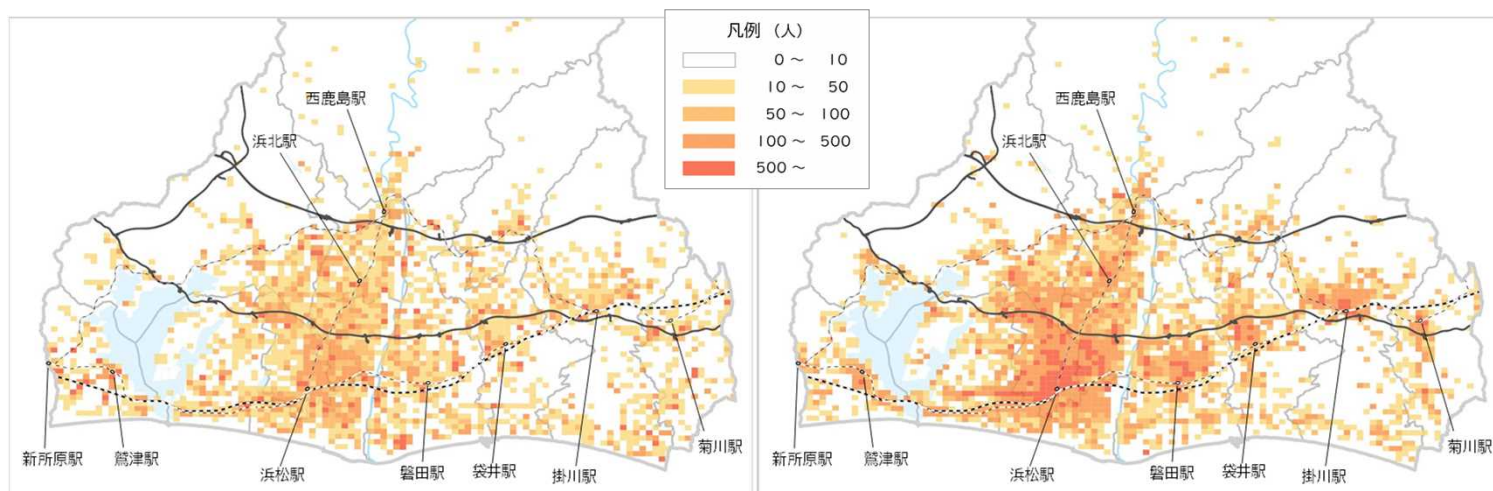
◆ 産業別の従業人口



出典：令和3年経済センサス

◆ 第二次産業従業者の従業地分布

◆ 第三次産業従業者の従業地分布

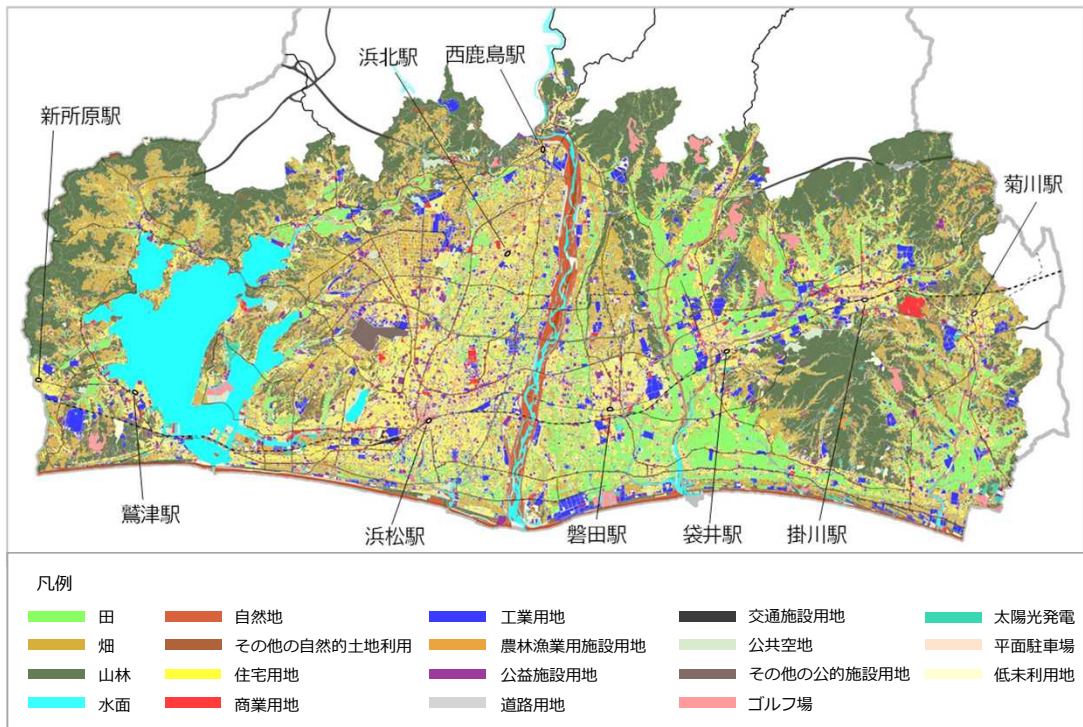


出典：令和3年経済センサス

土地利用

◆ 土地利用の現況

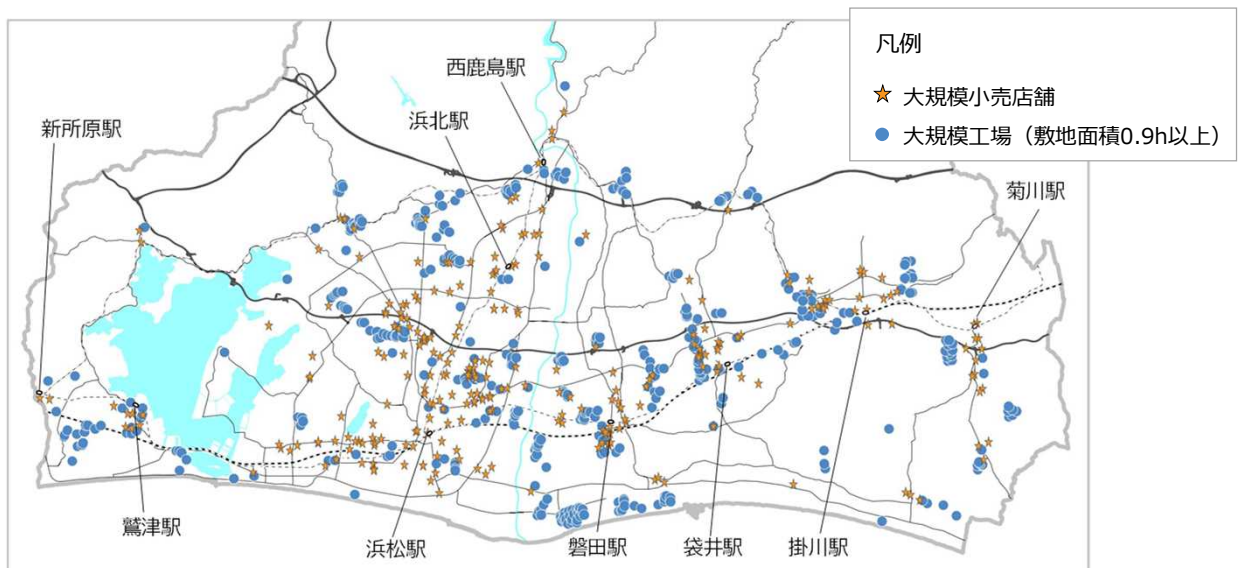
- ・西遠都市圏では、天竜川下流の天竜川低地や三方原台地などに広く市街地が広がっています。
- ・天竜川の東側には、磐田原台地に市街地が広がるとともに、太田川低地には田園地帯が広がっています。



出典：令和3年度都市計画基礎調査

◆ 大規模小売店舗、大規模工場の立地状況

- ・大規模小売店舗及び大規模工場は、幹線道路沿いに分布しています。

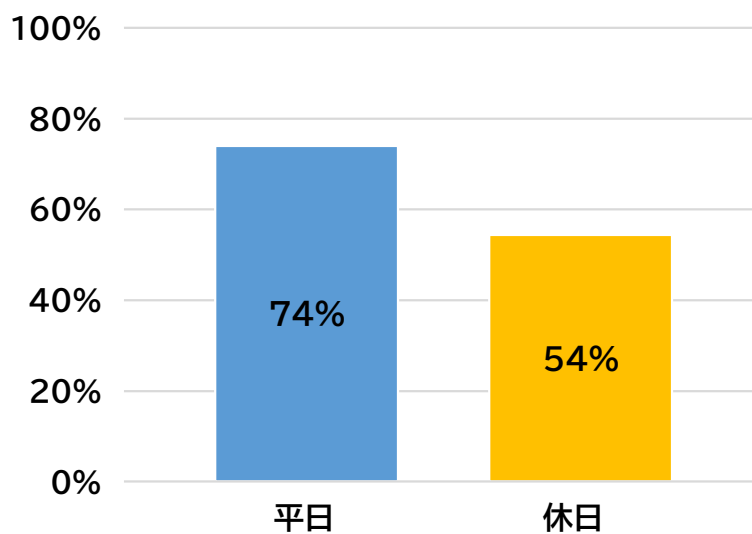


出典：全国大型小売店総覧2022、令和3年度都市計画基礎調査

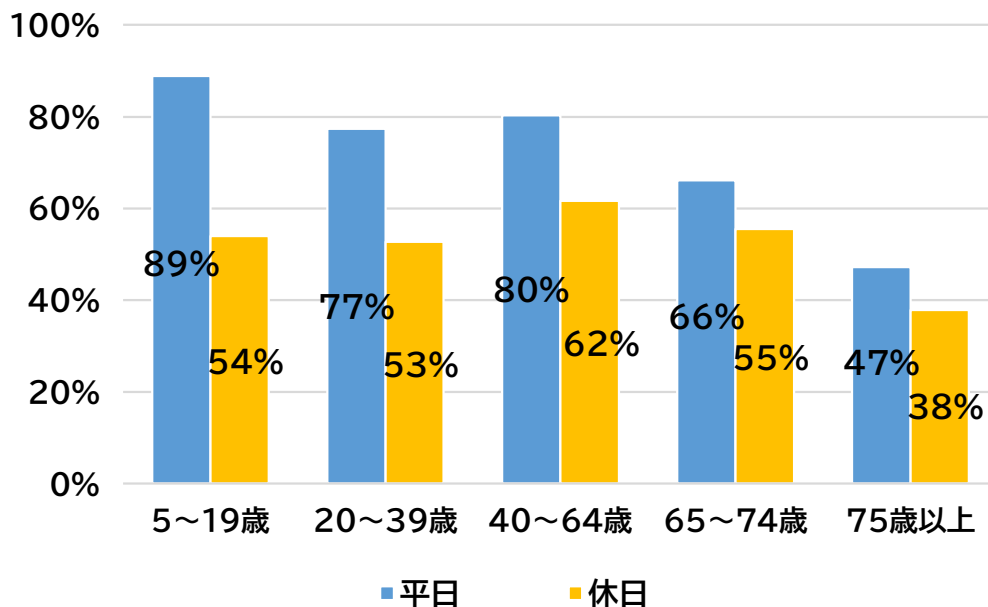
移動・活動の現況

- ・西遠都市圏での平日の外出率（外出者数/都市圏居住者）は74%、休日は54%となっており、平日に外出する人が多くなっています。
- ・年齢階層別にみると、平日は若い人ほど外出率が高い傾向にあります。

◆ 平日・休日における外出率（外出者数/都市圏居住者）



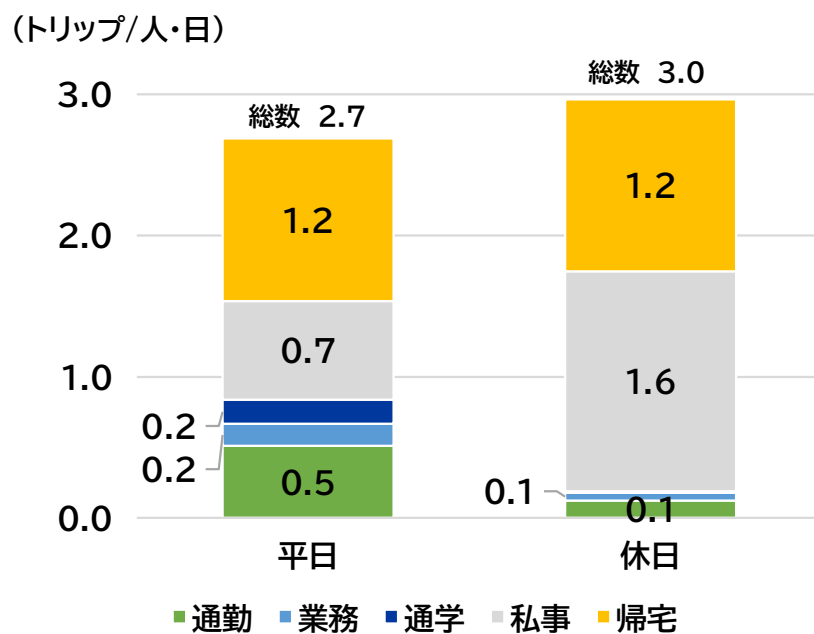
◆ 年齢階層別の平日・休日における外出率（外出者数/都市圏居住者）



移動・活動の現況

- ・外出した人の1人一日あたりの移動回数（ネット原単位）は、平日より休日が高い傾向にあり、休日では私事での移動が特に多くなっています。
- ・休日は平日に比べて外出率は低いものの、外出した人1人あたりの移動回数が多いことから、出かけた際には多くの目的地を訪れていることがわかります。

◆ 外出した人の1人一日あたりの移動回数（ネット原単位）の平日・休日の比較



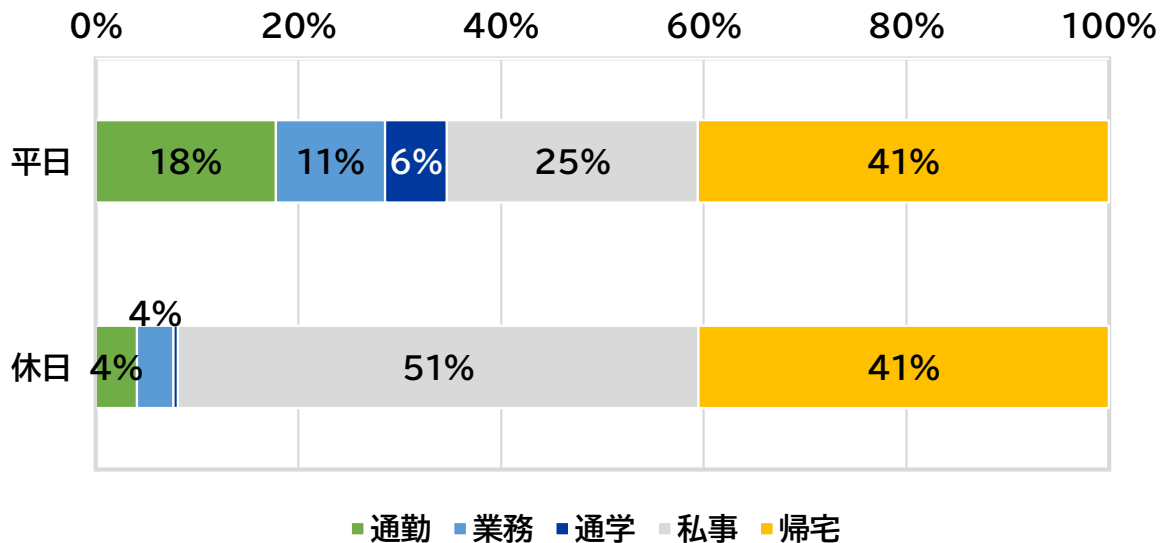
※人がある目的をもって、ある地点からある地点へと移動する単位をトリップといい、1回の移動でいくつかの交通手段を乗り換えても1トリップと数える。

※ネット原単位とは、外出した人の1人一日あたりの移動回数を示すもので、トリップ総数/外出者数で算出。

移動・活動の現況

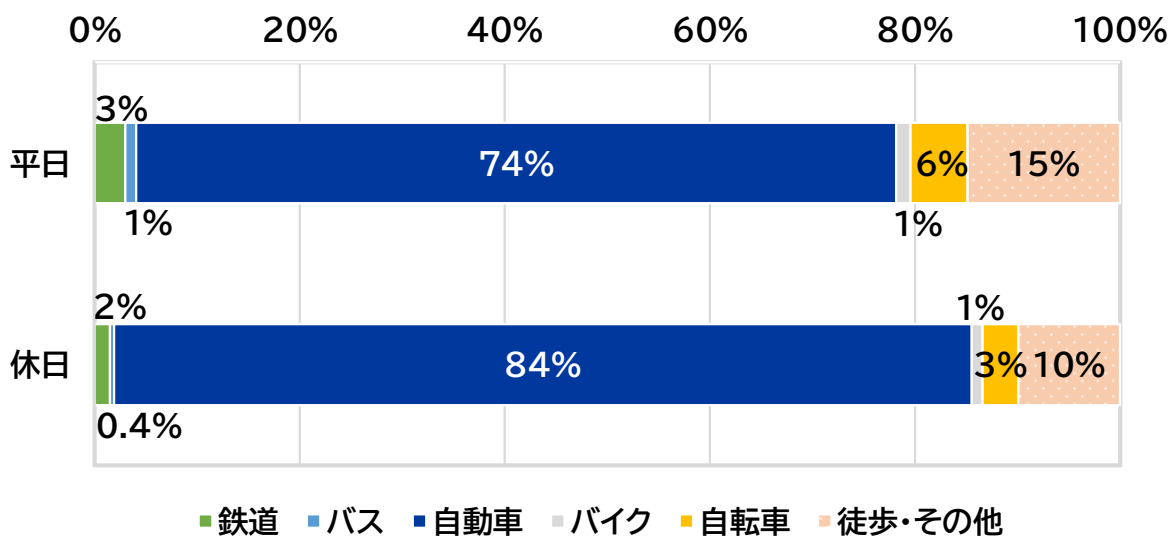
◆ 目的種類構成比の平日・休日の比較

- ・移動の目的は、平日では通勤が18%、私事が25%となっています。
- ・休日では、私事が51%を占めており、平日と比べて私事での移動が中心となっています。



◆ 代表交通手段構成比の平日・休日の比較

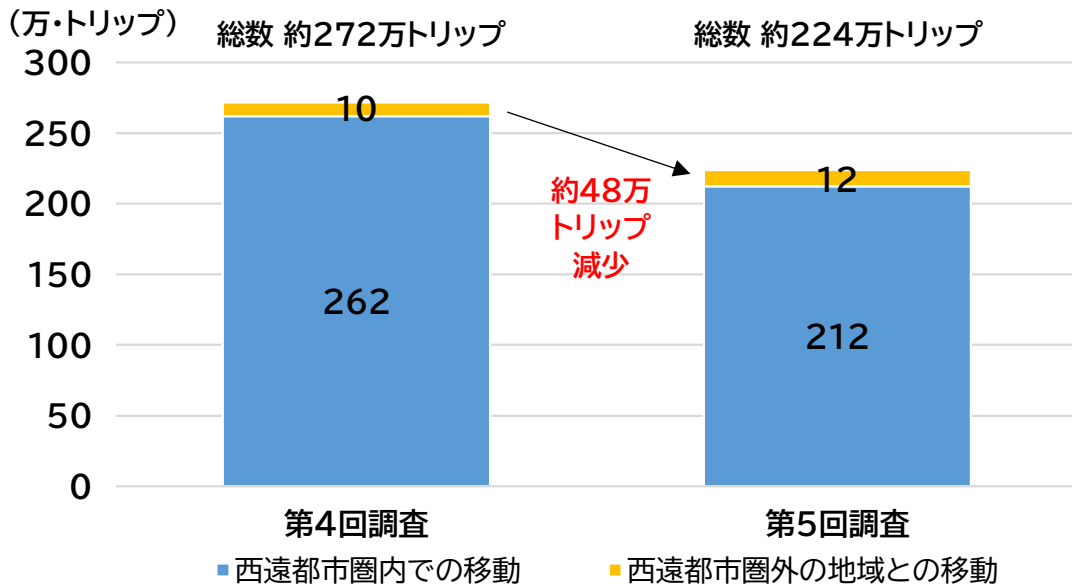
- ・移動手段は、平日では74%が自動車での移動となっており、鉄道は3%、バスは1%となっています。
- ・休日では、84%が自動車での移動となっており、平日よりも自動車の依存度が高くなっています。



移動・活動の変化

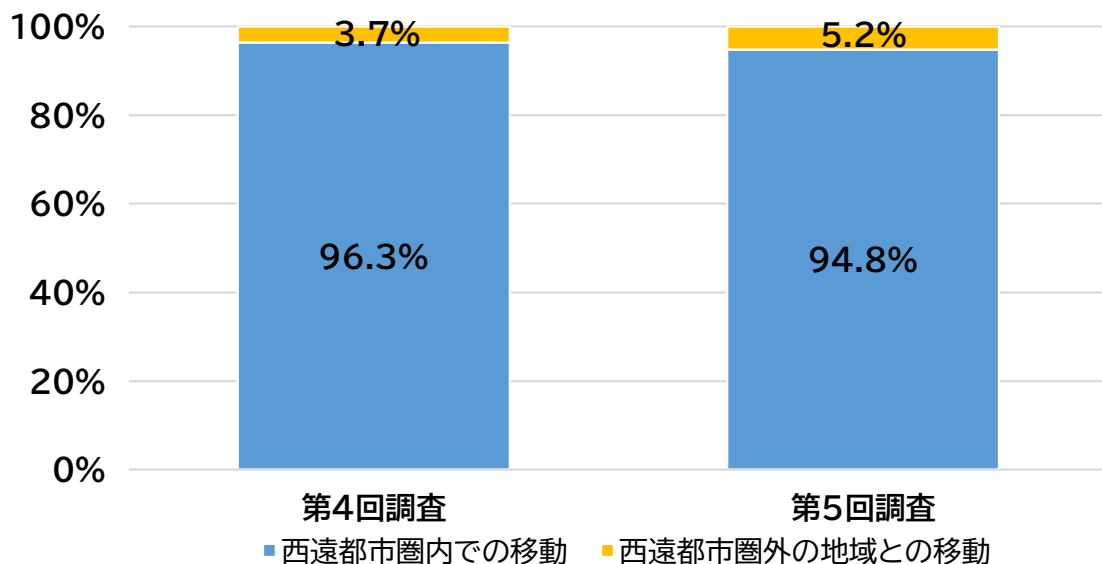
◆ 平日におけるトリップ数の推移

- ・ 第5回調査（令和4年）では、総トリップ数が約224万トリップとなっています。
- ・ 前回の第4回調査（平成19年）では、総トリップ数は約272万トリップであり、約48万トリップ減少しています。



◆ 平日における都市圏内での移動及び都市圏内外での移動の推移

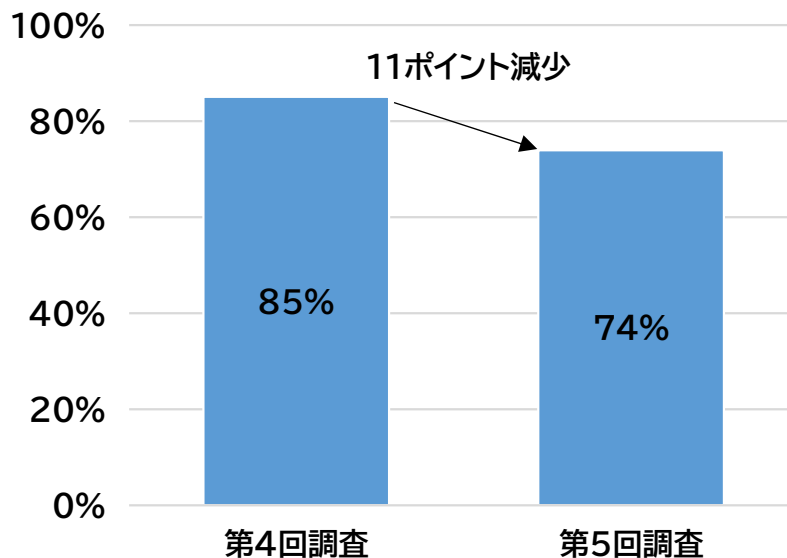
- ・ 第5回調査（令和4年）では、西遠都市圏内での移動が全体の94.8%となっています。
- ・ 前回の第4回調査（平成19年）では、西遠都市圏内での移動が全体の96.3%であったことを踏まえると、西遠都市圏外の地域との移動の割合が増えています。



移動・活動の変化

◆ 平日の外出率（外出者数/都市圏居住者）の推移

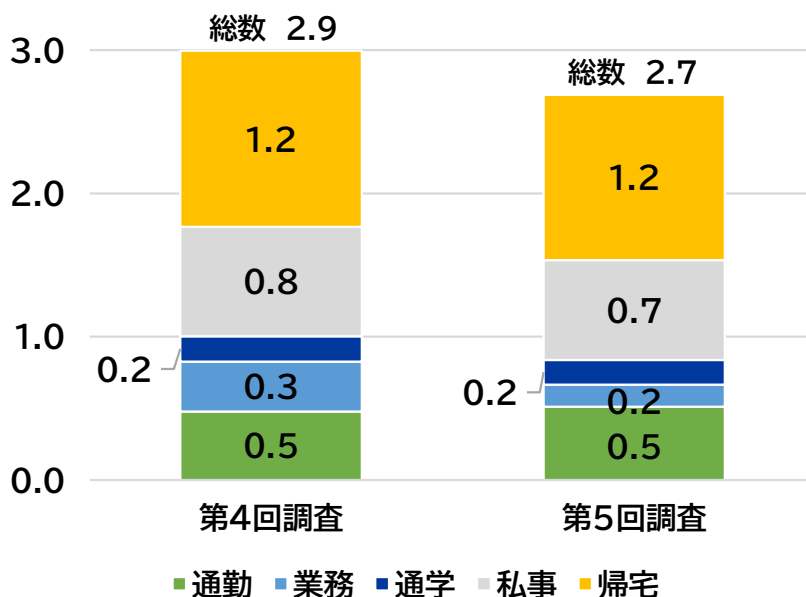
- ・平日の外出率（外出者数/都市圏居住者）は、第4回調査と比較して、約11ポイント減少しています。



◆ 平日に外出した人の1人一日あたりの移動回数（ネット原単位）の推移

- ・平日に外出した人の1人一日あたりの移動回数（ネット原単位）は、第4回調査と比較して、0.2トリップ/人・日減少しています。
- ・移動目的別にみると、業務目的と私事目的で減少傾向です。

(トリップ/人・日)



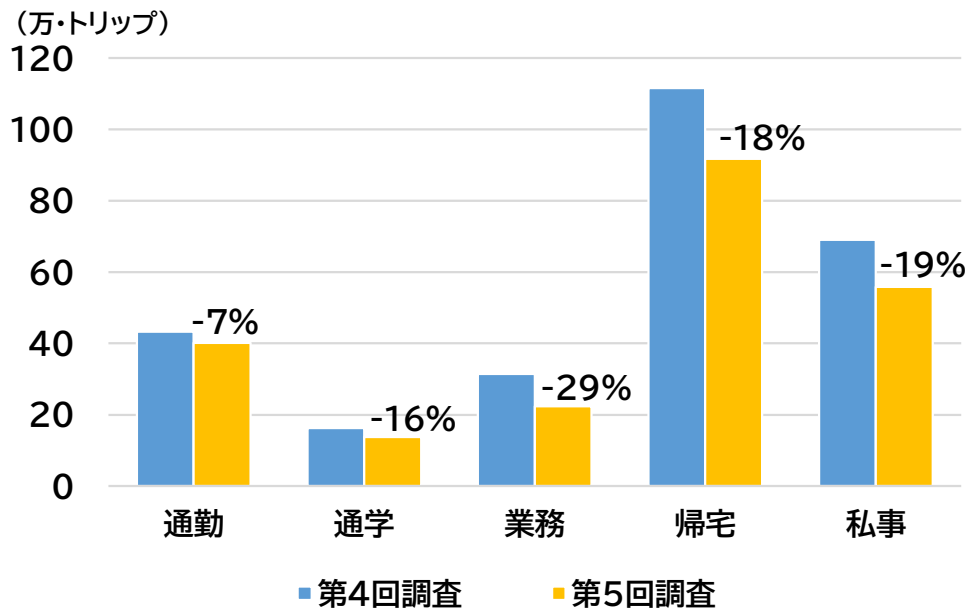
※第5回調査は小サンプル調査であり、交通補正処理の対象である業務目的の貨物トリップが特定の層に偏るおそれがあること、ネット原単位の集計では各層の活動の違いをみることに主たる目的であることから、交通補正処理前の拡大係数を用いて集計を実施。

※ネット原単位とは、外出した人の1人一日あたりの移動回数を示すもので、トリップ総数/外出者数で算出。

移動・活動の変化

◆ 平日における目的別のトリップ総数の推移（変化率）

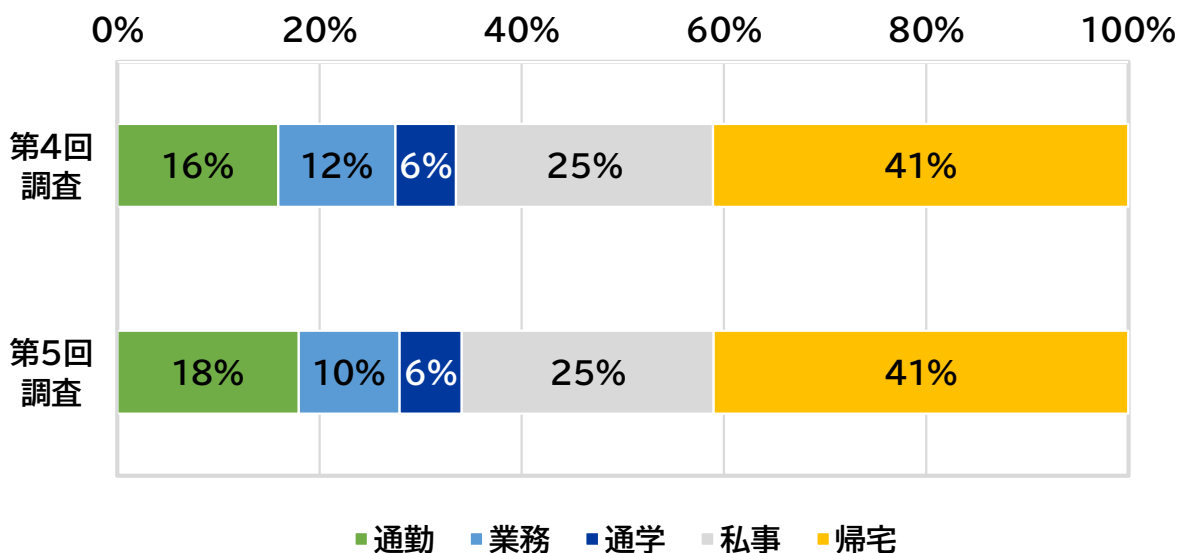
- ・第5回調査と第4回調査における平日の目的別トリップ数を比較すると、全ての目的で減少傾向です。
- ・特に業務目的での減少が大きくなっています。



※第5回調査の目的不明は現在の構成比に基づき、按分を実施。

◆ 平日の目的種類の構成比

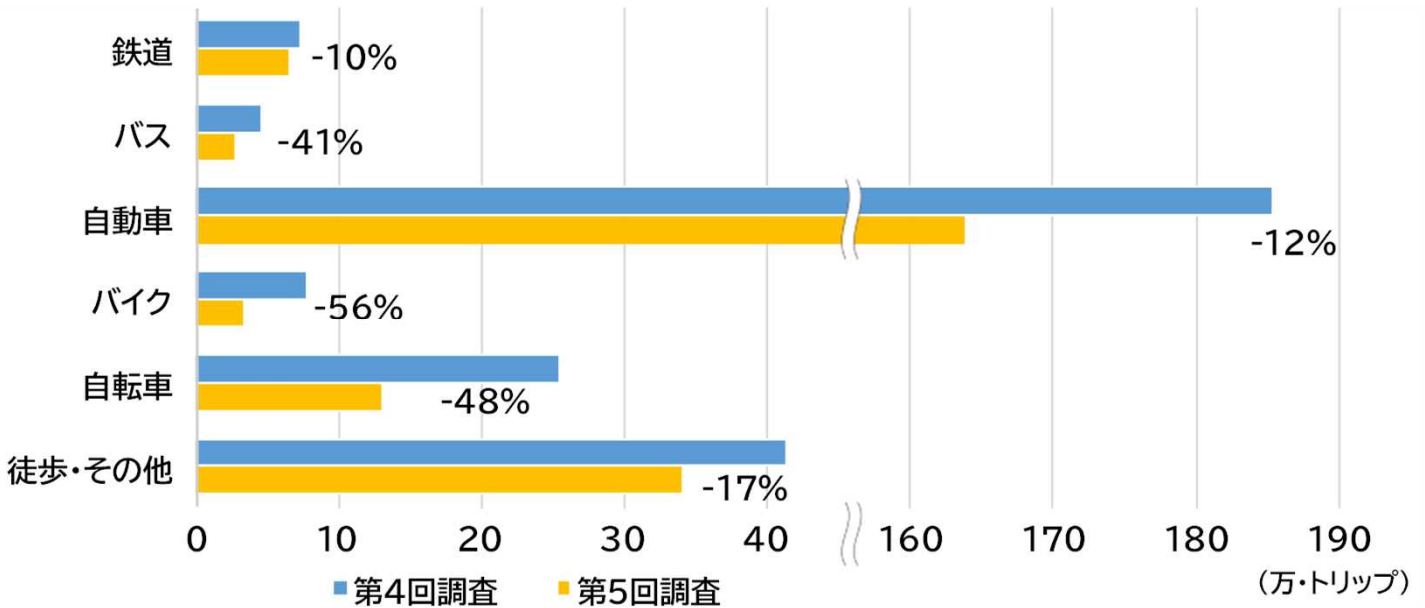
- ・平日の目的種類の構成比は、第4回調査と比較して、通勤目的で2ポイント増加し、業務目的で2ポイント減少しています。



移動・活動の変化

◆ 平日における代表交通手段別のトリップ総数の推移（変化率）

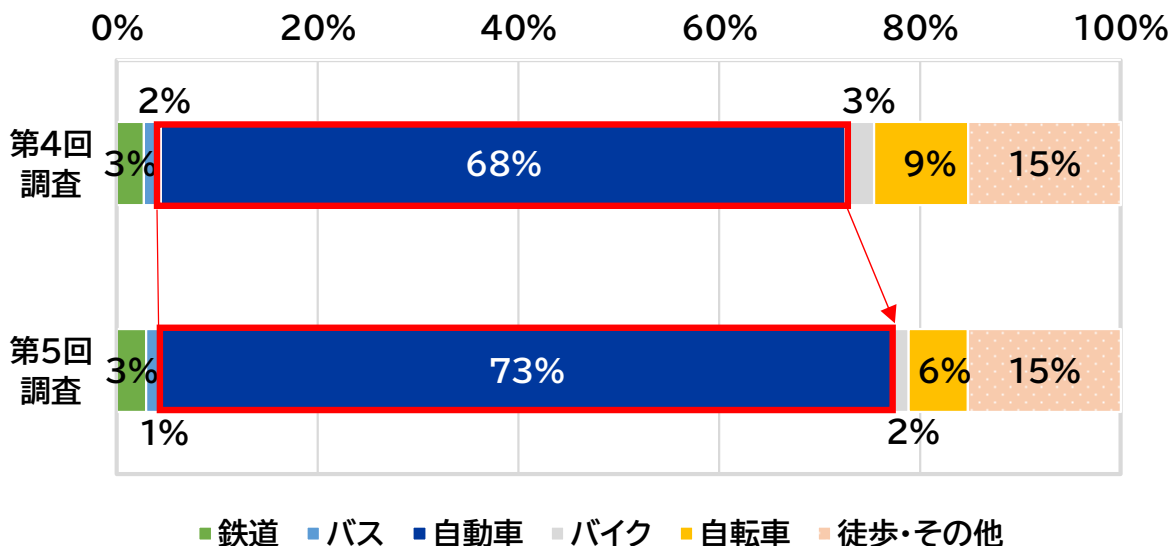
- ・第5回調査と第4回調査における平日の代表交通手段別トリップ数を比較すると、全ての移動手段で減少傾向です。
- ・特にバス、バイク、自転車代表交通手段とする移動が大きく減少しています。



※第5回調査の目的不明は現在の構成比に基づき、按分を実施。

◆ 平日の代表交通手段の構成比

- ・平日の代表交通手段の構成比は、第4回調査と比較して、自動車の割合が5ポイント増加しています。
- ・一方で、バス、バイク、自転車の割合が減少しています。



※一つのトリップでいくつかの交通手段を乗り換えた場合、その中の主な交通手段を代表交通手段という。主な交通手段の集計上の優先順位は、鉄道、バス、自動車、二輪車、徒歩の順としている。

お問い合わせ先

西遠都市圏総合都市交通計画協議会

電話

静岡県	交通基盤部 都市局 都市計画課	054-221-2219
浜松市	都市整備部 交通政策課 交通計画グループ	053-457-2910
磐田市	建設部 都市計画課 都市計画グループ	0538-37-4907
掛川市	都市建設部 都市政策課	0537-21-1151
袋井市	都市建設部 都市計画課	0538-44-3122
湖西市	都市整備部 都市計画課	053-576-4560
菊川市	建設経済部 都市計画課	0537-35-0932
森町	建設課	0538-85-6322